



2025 年 12 月 19 日
各 位

会 社 名 横浜冷凍株式会社
代表者名 代表取締役社長 古瀬 健児
(コード番号 2874 東証プライム)
問合せ先 執行役員 I R 部長 星 光孝
電話番号 045-210-0011

「2024 年 9 月 期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正に関するお知らせ

当社は、2025 年 1 月 6 日に訂正開示いたしました「2024 年 9 月 期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の経緯および理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(2025 年 12 月 19 日)付「過年度の決算短信の訂正並びに過年度の有価証券報告書・半期報告書の訂正報告書の提出について」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所には下線を付して表示しております。

以上



2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月14日

上場会社名 横浜冷凍株式会社 上場取引所 東
コード番号 2874 URL <https://www.yokorei.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古瀬 健児
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員広報IR部長兼広報室長 (氏名) 小松 晃子 TEL 045-210-0011
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	91,168	△1.3	4,044	48.1	2,899	△15.2	1,665	△28.3
2023年9月期第3四半期	92,329	14.4	2,730	△22.1	3,419	△22.2	2,324	△21.4

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 7,256百万円(433.1%) 2023年9月期第3四半期 2,302百万円(△26.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	28.29	—
2023年9月期第3四半期	39.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期第3四半期	210,330	79,262	37.0	1,318.79
2023年9月期	188,263	73,340	38.2	1,222.23

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 77,720百万円 2023年9月期 71,881百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	11.50	—	12.50	24.00
2024年9月期	—	12.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2023年9月期の期末配当金の内訳 普通配当 11円50銭 記念配当 1円00銭

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	139,000	10.7	4,550	26.8	4,750	14.9	3,050	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年9月期3Q	59,266,684株	2023年9月期	59,266,684株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	333,314株	2023年9月期	454,502株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年9月期3Q	58,885,090株	2023年9月期3Q	58,791,833株

当第3四半期末において、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式186,260株を自己株式に含めています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、当社グループを取り巻く経済状況、事業環境、他社との競合、自然災害、金利等様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2023年10月1日～2024年6月30日)におけるわが国の経済は、経済活動の正常化や雇用・所得環境改善、インバウンド消費の増加などを背景に、景気は緩やかな回復基調を維持しました。一方で、地政学リスクや世界的なインフレによる景気減速リスクは依然として高まっており、円安の進行による経済への悪影響や物価上昇懸念など、先行き不透明な状況が続いています。

このような状況のなか、当社グループは、2026年を最終年度とする新・中期経営計画(第Ⅱ期)「繋ぐ力」を策定しました。冷蔵倉庫事業は「積み重ねてきた高品質な物流で国内外の課題を解消し、お客様へスマートコールドサービスを提供」、食品販売事業は「国内外の生産者とのネットワークを活かし、目利き力により旬や美味しさをお客様へ」を方針に掲げました。最終年度(2026年9月期)に「連結売上高1,500億円」「連結営業利益65億円」「EBITDA 130億円」「ROE 5 %以上」「自己資本比率40 %台を維持」とした定量目標を達成すべく、各重点施策に取り組んでおります。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高91,168百万円(前期比1.3 %減)、営業利益4,044百万円(前期比48.1 %増)、経常利益2,899百万円(前期比15.2 %減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,665百万円(前期比28.3 %減)となりました。

なお、当社グループは、2024年11月14日付「過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」及び2025年1月6日付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」に記載のとおり、収益認識基準に関する会計基準に準拠した会計処理を行い決算訂正をしました。第74期(2021年9月期)以降の決算を訂正し、第74期(2021年9月期)以降の有価証券報告書、四半期報告書、内部統制報告書の訂正報告書を、2025年1月6日に関東財務局へ提出するとともに、当連結会計年度(2023年10月1日～2024年9月30日)の第3四半期決算短信及び決算短信の訂正開示を行いました。

(冷蔵倉庫事業)

当第3四半期連結累計期間は増収増益となりました。

前期からの高い在庫水準が続いており、冷凍食品を中心に水産品、農産品、畜産品、すべての取扱いが増加し、保管料収入、荷役料収入とともに前年を大きく上回り増収となりました。これらの増収が、今年竣工した3つの物流センターの減価償却費、立上り経費等のコスト増を吸収し、また、DX推進により生産性の向上に努めた結果、増益となりました。

タイの連結子会社THAI YOKOREI CO., LTD.においても、主力取扱品である畜産品、乳製品の取扱量が増加し、セグメント利益を牽引しました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績は、売上高25,895百万円(前期比10.2 %増)、営業利益5,819百万円(前期比16.2 %増)となりました。

(食品販売事業)

当第3四半期連結累計期間は減収増益となりました。

水産品は主力商材である鮭鱈の量販店への販売が伸長、その他、イワシ、アカウオ等も取扱いが増加し増収増益、ホタテは中国輸出の代替としてベトナム、国内販売にシフトし減収ながら増益となりました。また、エビ、魚卵も相場が回復し、水産品全体では利益重視の販売の取組みにより増益となりました。

畜産品は主要販売先である、外食・中食向けが順調に伸長しました。品目別では、ポーク、ビーフともに高値で推移したため、取扱量は減少した一方、チキンは単価も安定し取扱量も増加しました。その結果、ポークは減収となるも増益、その他チキン、ビーフは増収増益となり、畜産品全体では増収増益となりました。

農産品は全般的に収穫量が減少したことにより、取扱量が減少し減収となりましたが、主力のイモ類が増益となり、農産カテゴリーの利益を牽引しました。

以上の結果、食品販売事業の業績は、売上高65,228百万円(前期比5.2 %減)、営業利益1,191百万円(前期比43.4 %増)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ22,066百万円増加し、210,330百万円となりました。これは主に有形固定資産が12,056百万円、投資有価証券が8,901百万円、棚卸資産が1,896百万円増加したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末と比べ16,144百万円増加し、131,067百万円となりました。これは主に借入金が9,807百万円、繰延税金負債が3,217百万円、その他(為替予約負債及び設備関係支払手形)が2,275百万円増加したこと等によるものです。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5,921百万円増加し、79,262百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」)は、前連結会計年度末に比べ768百万円増加の4,695百万円となりました。当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な内容は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、9,056百万円の資金の増加(前年同四半期は1,432百万円の資金の減少)となり、その主な内容は税金等調整前四半期純利益2,899百万円、減価償却費5,348百万円、仕入債務の増加額1,115百万円等による資金の増加と、売上債権の増加額1,520百万円、棚卸資産の増加額1,861百万円等の資金の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、16,560百万円の資金の減少(前年同四半期は14,058百万円の資金の減少)となり、その主な内容は貸付金の回収による収入418百万円等による資金の増加と、有形固定資産の取得による支出16,263百万円等の資金の減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、8,271百万円の資金の増加(前年同四半期は19,260百万円の資金の増加)となり、その主な内容は金融機関からの借入の純増額9,778百万円による資金の増加と、配当金の支払額1,417百万円等の資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の連結業績予想につきましては、「2023年9月期 決算短信」(2023年11月14日付)で公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,937	5,005
受取手形及び売掛金	16,523	15,966
商品	14,816	16,712
前渡金	2,178	556
短期貸付金（純額）	870	540
その他	1,046	1,965
貸倒引当金	△101	△101
流動資産合計	39,270	40,646
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	54,182	65,181
機械装置及び運搬具（純額）	8,353	10,305
土地	30,507	30,773
リース資産（純額）	312	364
建設仮勘定	7,056	5,602
その他（純額）	756	998
有形固定資産合計	101,168	113,225
無形固定資産		
のれん	32	—
その他	3,398	3,360
無形固定資産合計	3,431	3,360
投資その他の資産		
投資有価証券	39,401	48,302
長期貸付金	4,724	5,054
長期未収入金	6,762	7,363
その他	1,200	904
貸倒引当金	△7,695	△8,527
投資その他の資産合計	44,392	53,097
固定資産合計	148,993	169,683
資産合計	188,263	210,330

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,568	5,865
短期借入金	21,087	17,573
1年内返済予定の長期借入金	5,864	5,518
1年内償還予定の社債	—	10,000
リース債務	95	99
未払法人税等	899	451
賞与引当金	812	145
役員賞与引当金	45	27
その他	5,693	7,957
流動負債合計	39,067	47,638
固定負債		
社債	30,000	20,000
長期借入金	38,586	52,254
リース債務	245	298
繰延税金負債	117	3,335
役員報酬BIP信託引当金	143	95
債務保証損失引当金	4,487	4,832
退職給付に係る負債	1,081	1,112
資産除去債務	91	91
その他	1,102	1,408
固定負債合計	75,855	83,428
負債合計	114,922	131,067
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,303	14,303
資本剰余金	14,419	14,428
利益剰余金	38,650	38,869
自己株式	△386	△282
株主資本合計	66,987	67,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,214	10,355
繰延ヘッジ損益	△39	△777
為替換算調整勘定	884	967
退職給付に係る調整累計額	△164	△143
その他の包括利益累計額合計	4,894	10,402
非支配株主持分	1,459	1,541
純資産合計	73,340	79,262
負債純資産合計	188,263	210,330

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	92,329	91,168
売上原価	82,800	80,468
売上総利益	9,528	10,700
販売費及び一般管理費	6,797	6,656
営業利益	2,730	4,044
営業外収益		
受取利息	262	215
受取配当金	400	281
保険配当金	33	18
受取遅延損害金	—	198
受取手数料	153	93
その他	323	293
営業外収益合計	1,173	1,101
営業外費用		
支払利息	290	371
支払手数料	18	236
貸倒引当金繰入額	—	143
デリバティブ評価損	68	406
為替差損	—	754
その他	106	332
営業外費用合計	484	2,245
経常利益	3,419	2,899
特別利益		
条件付対価受入益	260	—
特別利益合計	260	—
税金等調整前四半期純利益	3,680	2,899
法人税、住民税及び事業税	1,112	931
法人税等調整額	222	250
法人税等合計	1,334	1,182
四半期純利益	2,345	1,717
非支配株主に帰属する四半期純利益	21	52
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,324	1,665

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	2,345	1,717
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	222	6,141
繰延ヘッジ損益	△298	△738
為替換算調整勘定	32	114
退職給付に係る調整額	0	20
その他の包括利益合計	△43	5,538
四半期包括利益	2,302	7,256
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,260	7,172
非支配株主に係る四半期包括利益	41	83

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,680	2,899
減価償却費	4,836	5,348
のれん償却額	31	33
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△586	△667
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	9	△17
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△39	831
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	—	344
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△21	50
役員報酬B I P 信託引当金の増減額 (△は減少)	—	△48
受取利息及び受取配当金	△662	△497
受取手数料	△153	△93
支払利息	290	371
デリバティブ評価損益 (△は益)	68	406
条件付対価受入益	△260	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,736	563
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,326	△1,861
前渡金の増減額 (△は増加)	△1,814	1,566
仕入債務の増減額 (△は減少)	94	1,297
未払費用の増減額 (△は減少)	123	225
その他	△703	△687
小計	△168	10,067
利息及び配当金の受取額	642	483
手数料の受取額	153	93
利息の支払額	△301	△287
法人税等の支払額	△1,757	△1,299
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,432	9,056
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△300
有形固定資産の取得による支出	△8,853	△16,263
有形固定資産の売却による収入	4	6
無形固定資産の取得による支出	△1,070	△114
投資有価証券の取得による支出	△2,608	△10,580
投資有価証券の売却による収入	—	10,576
投資有価証券の償還による収入	293	—
条件付対価の決済による収入	260	—
貸付けによる支出	△301	△118
貸付金の回収による収入	3,279	418
投融資の純増減額 (△は増加)	△5,003	△205
その他	△57	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,058	△16,560
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	9,339	△3,529
長期借入れによる収入	15,000	17,500
長期借入金の返済による支出	△3,446	△4,192
自己株式の取得による支出	△200	△0
配当金の支払額	△1,360	△1,417
その他	△72	△89
財務活動によるキャッシュ・フロー	19,260	8,271
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,772	768
現金及び現金同等物の期首残高	2,413	3,927
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,185	4,695

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,495	68,790	43	92,329	—	92,329
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,641	—	24	1,665	△1,665	—
計	25,136	68,790	67	93,994	△1,665	92,329
セグメント利益又は損失 (△)	5,009	831	23	5,864	△3,134	2,730

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,134百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,895	65,228	44	91,168	—	91,168
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,536	—	24	1,560	△1,560	—
計	27,431	65,228	69	92,729	△1,560	91,168
セグメント利益又は損失 (△)	5,819	1,191	18	7,029	△2,985	4,044

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,985百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。